

# えびの

*I Will Inform you.*

広報

2024  
AUGUST  
vol.694

Ebino city Public relations

8

特集

認知症と共に生き、共に暮らす

## 今月の掲載記事

えびのインター産業団地 立地企業特集  
～マルゼングループ協同組合 大規模物流センター完成～

足湯の駅えびの高原がグランドオープン!

えびの市消防団 夏季点検・操法大会

pick up information

TOPICS

# えびののインター産業団地 立地企業特集

## マルゼングループ協同組合 大規模物流センター完成

九州北部を中心に、倉庫事業を全国展開しているマルゼングループ協同組合（本社・福岡県久留米市）が、えびののインター産業団地に建設していた物流センターが完成し、7月8日に竣工式・落成式が執り行われました。県外企業が、産業団地内で竣工式・落成式を行うのは、今回が初めてとなります。

同式には、マルゼングループ協同組合や施工業者、関係企業、えびの市などが出席しました。倉庫を利用するのは、株式会社キシヤ（医療機器販売・レンタルなど）、株式会社weizō（家庭園芸用品などの卸売業）、八代丸善運輸株式会社（運送事業・倉庫事業）になります。

同式で市長は「物流の要衝として、未来のえびの市の発展に大きく影響すると思います。活躍を期待するとともに、市としてもしっかりとサポートしていきます」とあいさつしました。



南九州を結ぶ大規模物流センター。すでに倉庫全体の85%は入居者が決定

**TOP's VOICE**

マルゼングループ協同組合  
古賀 大輔 代表理事

丸善グループの事業本部であるマルゼングループ協同組合は、物流関連施設を各地で展開していますが、今回、2024年問題をはじめ、将来の南九州における物流の持続可能性を勘案し、物流企業、荷主企業が抱える課題解決の拠点として、えびの市に新たな物流倉庫を建設しました。

えびの市は、九州道からなる南九州の玄関口として、物流に最適な立地条件を持ち、災害リスクにも優れています。そのため、市と連携して地域の活性化を進めれば、産業団地として、大きな価値があると考えています。



### 物流の2024年問題

2024年4月から、トラックドライバーの時間外労働時間が規制され、労働時間が短くなることで輸送能力が不足し、「モノが運べなくなる」ことが懸念されています。このことは「物流の2024年問題」と呼ばれています。

物流の2024年問題は、配達遅延や配送コストの増加、配達時間帯の選択肢が減るなど、消費者のライフスタイルに直接的な影響を及ぼす可能性があります。

そういった中で、ドライバーの拘束時間を短縮するため、運送業をはじめとした物流企業は地方に拠点を増やし、中継拠点を整備する動きが活発化しています。

九州自動車道と宮崎自動車道の交通結節点であるえびのジャンクションがあることは、えびの市の大きな強みです。物流の中継拠点をえびの市に整備することは、九州地方、特に南九州における2024年問題の大きな解決策になります。市では、企業立地に適している産業団地の魅力を発信し、企業誘致を促進します。

### 会社概要



会社名	マルゼングループ協同組合
代表者名	代表理事 古賀 大輔
本社所在地	福岡県久留米市善導寺町飯田829番地1
設立年月日	平成3年2月28日
資本金	565万円
事業内容	第一種貨物利用運送事業、倉庫業、宅地建物取引業
従業員	19人（令和5年7月）
沿革	平成3年2月 「マルゼングループ運輸事業協同組合」を設立 平成15年4月 「マルゼングループ協同組合」に名称変更 令和2年1月 倉庫業を事業に追加 令和2年3月 宅地建物取引を事業に追加

### えびの物流センター概要

所在地	えびの市大字湯田字水洗146番1 (えびののインター産業団地内)
敷地面積	33,933.89㎡
建築面積	19,135㎡
総事業費	30億円
操業計画	着工 令和5年5月 完成 令和6年7月
操業開始	令和6年9月予定
雇用計画	倉庫内で操業開始する3社合わせて約70人

### えびのインター産業団地



総面積17.3ha。国道268号線に直結し、えびのICから約500mに位置し、えびのJCTを活用した南九州各都市へのスピーディなアクセスがセールスポイント（令和6年撮影）

市企業立地課  
お問い合わせ  
☎ 35-3727（課直通）

#### これまでの歩み

令和4年6月  
えびののインター産業団地の区画10を取得

令和5年5月19日  
起工式を執り行い、建設工事がスタート。



令和5年7月18日  
市と企業立地協定を締結し、えびの市指定企業第45号に指定。



令和6年7月8日  
竣工式・落成式を執り行い、物流センターの完成を祝いました。



## Cafe Restaurant Moliendo Café

おすすめ!

韓国かき氷(糸ピンス)やえびの産ハーブ牛を使ったローストビーフドッグなど、気軽に楽しめるカフェ&レストランです。

### ローストビーフドッグ

営業時間 午前10時～午後5時



榎本 奈津子さん 榎本 鱒大さん

## Pudding KOSHIKIDAKE

おすすめ!



おとこ「漢プリン」が看板商品のイーナプリンが営むプリン専門店です。通称プリン山と呼ばれる「甑岳」を冠した甑岳プリンがおすすめです。

### こしき 甑岳プリン

営業時間 午前11時～午後4時



森山 忍さん

## WA Cafe ebinOmusubi

おすすめ!

えびの産ヒノヒカリを使用したおむすび&団子を中心とした和食・和カフェです。えびの米と九州の食を結びます。

### おむすび 康卵の卵黄醤油漬け(写真中央)

営業時間 午前11時～午後4時



荒川 駿介さん

※営業については、現在、不定休となっています。あらかじめご了承ください。

### お問い合わせ

市観光商工課 観光係 ☎ 35-1114 (直通)

# 足湯の駅えびの高原が グランドオープン!

えびの高原にある「足湯の駅えびの高原」が、7月26日にグランドオープンしました。これは、令和5年度から行われていた改修工事が竣工を迎え、施設全体が営業を開始したものです。2階部は、約6年ぶりとなる営業再開です。

改修工事では、環境省の国立公園等資源整備事業費補助金を活用し、2階に、新たに「カフェスペース」、「展望スペース」、「キッズスペース」の3ブースを整備しました。

えびの高原を訪れた際は、ぜひ、お立ち寄りください。多くの皆さんの来場をお待ちしています。



ボルダリングやトランポリン、乳幼児スペースなどの遊具を設置。2歳から6歳までのお子さんが遊べるスペースになっています。



2階に上がって正面にある大きな窓からは、雄大な霧島連山や韓国岳を一望できます。記念撮影スポットとしてもおすすめです。



新たに飲食店3店舗がオープン。窓際には霧島連山を眺められるカウンターテーブルがあり、ゆったりとくつろげます。



みなほイメージソングを園児とともに披露しました

露もあり、上江認定こども園の園児たちが、大野さんの曲に合わせて楽しそうに踊っていました。

### 大野勇太さんが えびの応援大使に

式典の中で、シンガーソングライターの大野勇太さんに村岡隆明市長から「えびの応援大使」の委嘱状が交付されました。大野さんからえびの市に寄贈された楽曲の演奏披



グランドオープンを記念して開催した式典には、市議会議員や関係者、市内外の観光事業者など、総勢40人が出席しました。えびの市長をはじめとする関係者4人によりテープカットが行われ、施設のグランドオープンを彩りました。

### グランドオープン セレモニー



## えびの市消防団操法大会結果

### ポンプ車の部

優勝	3分団1部	京町、上向江
準優勝	1分団2部	飯野麓
3位	2分団7部	中島

### 小型ポンプの部

優勝	2分団6部	東川北、榎田、牧の原
準優勝	3分団3部	中浦
3位	3分団5部	上島内

### 小型ポンプ積載車の部

優勝	3分団7部	下島内
準優勝	3分団2部	水流、東・中内豎、南・北昌明寺
3位	1分団8部	田代、出水

※右の地区名は管轄地域

## 優勝した部に聞きました

### ポンプ車の部



メンバーを大きく入れ替えて臨んだ大会でした。ベテランメンバーの若手への熱心な指導など、チームが一丸となった結果だと思います。

第3分団第1部  
藤本 貴壽 部長

### 小型ポンプの部



2連覇してほっとしています。先輩たちがつないできた伝統や日々の練習の成果が、優勝に結びつきうれしく思います。

第2分団第6部  
山口 稜司 部長

### 小型ポンプ積載車の部



3連覇し優勝カップを手にすることができうれしいです。県大会でも良い結果を残せるように団員一丸となって頑張ります。

第3分団第7部  
柿木 敏幸 部長

## 消防団員を募集しています

えびの市消防団では、消防団員を募集しています。市内に在住または勤務している18歳以上の人ならごなたでも入団できます。消防団員として活動しませんか？



詳しくは、市ホームページをご覧ください。市ホームページは、左のQRコードから確認できます。



7月7日、池島地区の水辺の楽校で「令和6年度えびの市消防団夏季点検・操法大会」が行われました。大会には、各地区の消防団30チームが参加。ポンプ車の部、小型ポンプの部、小型ポンプ積載車の部に分かれ、日頃の訓練の成果を競い合いました。この大会は、消防操法技術の向上を図ることを目的に行われています。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、5年ぶりの開催となりました。

競技は、水利から3本のホースを結合して放水し、火点が倒れるまでのタイムを競います。審査では、敬礼や号令などの規律、的確な機械器具操作なども総合的に採点されます。

各地区の消防団員は、仕事が終わった後や早朝などに集まり、この大会に向けて訓練を積み重ねてきました。

お問い合わせ  
市基地・防災対策課  
基地・防災対策係  
☎ 351-1119 (直通)



東原田地区で農業を営みながら、認知症の妻（要介護2）とともに暮らしています。妻は、いつも私より10分くらい先に起きて、ソファに座っています。起きたら靴下をはかせて、髪をといて、歯を磨いてあげます。テレビの電源の入れ方が分からないので、代わりに入れてあげると、「ご飯ができたよ」と言うまではテレビを見ています。買い物には妻と一緒に行くことが多い、Aコープは顔なじみ。従業員さんが荷物の多いときは運んでくれるし、丁寧に接してくれるからうれしです。時々、一人で買い物に行くと「奥さんも連れて

# 認知症と共に生き、共に暮らす



井川原 弘さん(89歳)、ノブエさん(84歳)夫婦

**妻がほほ笑んだり、喜んだりすれば幸福。私の生きがいです**

井川原 弘さん



おいで、会いたいから」と声をかけてくれます。妻にとっては、「毎日が初めて」、「毎日が冒険」です。ストレスをかけないように「自由に」、「自然に」任せています。また、季節を感じ和んだ気持ちになってほしいので、居間にはいつも庭の花を飾っています。ただ、夜中に3度ほどのぞいてみます。いなくなっていないか心配だからです。私が寝ていると布団を掛け直してくれるので、私のことを気遣ってくれているんだなとうれしくなります。認知症でいるいる忘れてしまっても、人を思う気持ちは一緒なんです。だから、大事にしてあげたいです。

**みんなで語り合うことで、介護の負担が軽くなります**

最初のころは、デイケアに行かなくても雰囲気壊してしまうのではないかと思ってたためらっていました。そんな時に息子が「とりあえず行かせてみたら？ダメやったらやめればいいがね」と言ってくれたことで通わせることにしました。今では週3回通っています。介護する上で困った時は、同じように介護する人たちの話を聞きた

**ノブエさんの安心した笑顔が見られるのは、弘さんがそばにいるからです**



シルバーケアステーション ほうよう ケアマネジャー 大脇 由美子 さん

ノブエさんに認知症の症状が現れたのは4年前で、令和2年に介護保険申請を行い、要介護の認定を受けました。ノブエさんは、認知症により警戒心や恐怖心が強くなっていたため、かかりつけのデイケアを週1回から始めました。

令和6年5月、厚生労働省が、団塊ジュニア世代が65歳以上になる2040年に、認知症の高齢者が584万人余りに上ると発表しました。これは高齢者の約15%、約6・7人に一人の割合となります。えびの市でも、高齢化率45・08%の超高齢化に伴い、認知症の人や認知症が疑われる人が今後増加すると見込まれています。認知症はゆっくりと進行しますが、症状が進行すると一人で生活していくことができなくなったり、介護をする家族の負担も増加したりします。その場合、介護保険を申請し、必要なサービスを利用したり、地域交流の場に参加することで地域での見守りを強化したりしていくことが重要となります。えびの市にも認知症の家族を抱えながらも、介護保険サービスや介護者の集いなどを利用して、自宅で前向きに介護を続けている人たちがいます。今後、高齢者の一人暮らしや老介護の増加が見込まれる中、地域でどう支えるかが課題となります。



いと思います。社会福祉協議会主催の介護者の集い「和の会」にも参加しています。勉強になります。私が、私のように一緒に連れて歩いたり、自分の苦労や境遇を積極的に語ったりはしないんだと感じています。自分の体験が誰かのためになることもあるので、語り合うことができれば、介護の負担も少しく軽くなると思います。

初めは、送迎するスタッフの顔を覚えておくことができずに警戒していました。回を重ねるごとに警戒心も薄れ、穏やかにデイケアの時間を過ごせるようになりました。顔なじみのスタッフに付き添われ、今では週3回通っています。弘さんも「常に見ておくことはできないし、自分の時間ができて良かった」と喜んでいきます。二人の生活状況に合わせて、サービスの見直しができるように、定期的にご家族と話し合い、支えたいと思います。

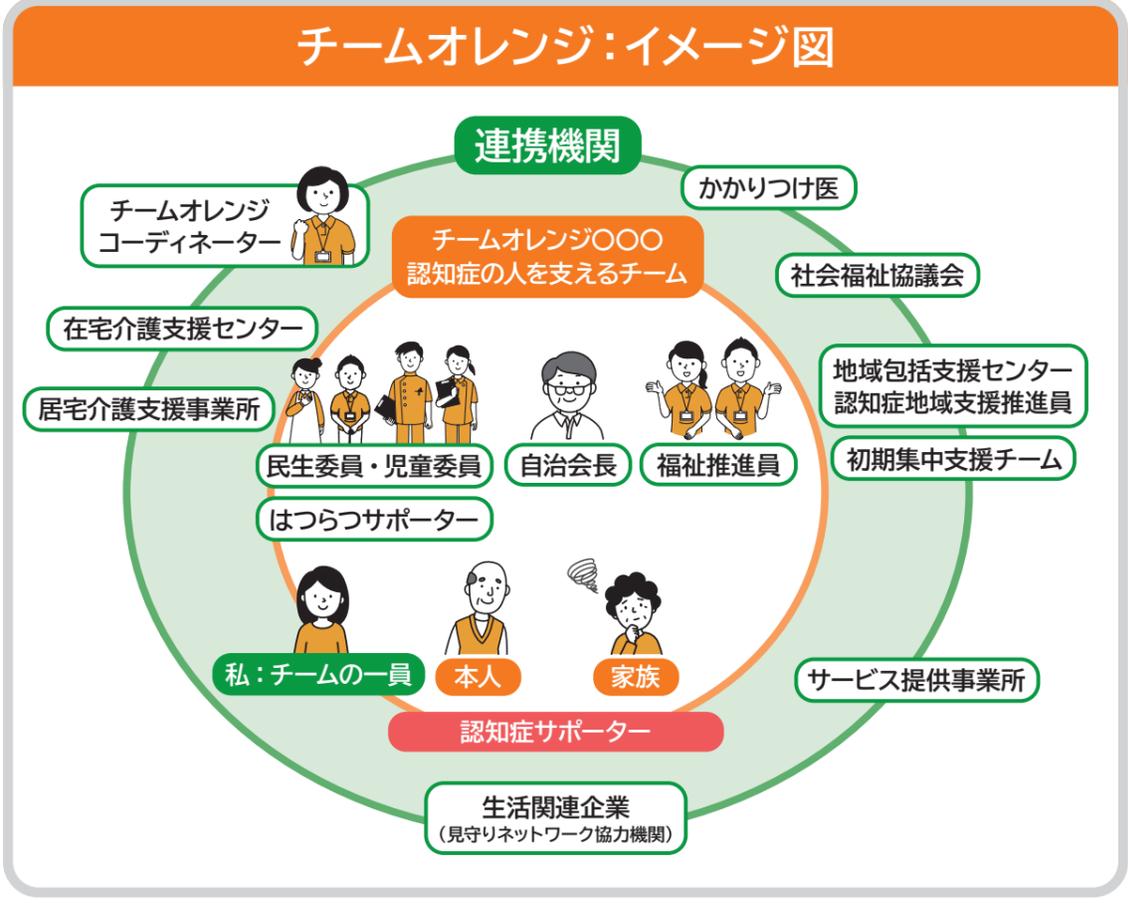
# みんながほっとする 地域力でつながるえびの

えびの市が目指す  
チームオレンジとは

認知症の人やその家族を地域で支えていくために、えびの市ではチームオレンジの結成を進めています。家庭や家族介護者だけでは、介護の負担感が増していきます。認知症の人を自宅の敷外で見かけたときに、近所の人が声をかけたり、自宅へ誘導したりすることができれば、本人も安心して近所を散歩することができ、また、不幸な事故や行方不明になる危険を回避することができます。

そのため、下の図のように、関係機関や地域の皆さんと一緒に、連携して支え合うチームオレンジの仕組みを目指しています。

チームオレンジとは、認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援するために、本人やその家族、地域の皆さん、取り巻く関係機関が手を取り合って、無理のない範囲で見守っていく体制のことです。



見守りや声掛けで  
安心できる環境を

認知症が進行すると、記憶障害や見当識障害（今自分がどこにいて、何をしているのか）だけでなく、判断力や理解力の低下により、日常生活に支障をきたすことがあります。認知症による行方不明者は、令和5年度に全国で約1万9千人に上りました。認知症の一人歩き（徘徊）の症状が出てくると、家族だけでは介護負担も大きく、見守りにも限界があります。認知症の人の一人歩きは、本人が目的をもって外出しても、途中で目的を忘れたり、道が分からなくなったりすることで起こります。地域で見守ることで、認知症の人とその家族も安心して生活を送ることができます。

認知症になっても、本人は自分の思いを持って生活しています。これまでの本人と変わらないという意識を持ち、みんなで温かく見守っていきましょう。



## 認知症を学ぼう

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る「応援者」です。対応の仕方を学ぶことで、困っている様子に気づき声をかけたり、お手伝いしたりすることができ、自分のできることはじめてみましょう。



座の受講を希望する組織や団体を募集しています。講座を修了した人には、「オレンジリング」を配布し、サポーターの目印にしています。

## 認知症を語ろう

オレンジカフェ「よかとこ」

認知症の人やその家族、地域住民、誰でも気軽に立ち寄れる集いの場です。認知症に関する書籍やパンフレットの展示もあり、自由に閲覧できます。認知症や介護、病気、悩みごとなど専門のスタッフが相談に応じます。ぜひ、ご参加ください。



台湾の留学生も参加しました



この看板が目印です！  
カフェの手伝いをしてくれるボランティアを募集しています！

開催日 毎月第3水曜日  
時間 午前9時30分～午前11時30分  
場所 市民図書館 学習室 参加費 50円 ※申し込みは不要です。

## 高齢者の総合相談窓口

市介護保険課 地域包括支援センター ☎ 35-1112 午前8時30分～午後5時15分（月曜～金曜）

南部在宅介護支援センター  
（シルバーケアステーションほうよう内）  
☎ 25-3311  
午前8時30分～午後5時30分  
（月曜～金曜 ※祝日除く）  
担当 赤崎 正和 さん

東部在宅介護支援センター  
（さくら苑内）  
☎ 33-2377  
午前8時～午後5時  
（月曜～土曜）  
担当 大野 祥照 さん

中部在宅介護支援センター  
（えびの市社会福祉協議会内）  
☎ 35-2800  
午前8時30分～午後5時  
（月曜～金曜 ※祝日除く）  
担当 矢野 香織 さん

西部在宅介護支援センター  
（えびの涼風園内）  
☎ 37-3085  
午前8時～午後5時  
（月曜～金曜 ※祝日除く）  
担当 古川 春香 さん

お問い合わせ 市介護保険課 地域包括支援センター ☎ 35-1112（課直通）

# 市役所からのお知らせ

Pick up information

【別表1】BMIの計算方法

● BMIの計算方法 ●

**体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)**

(例) 体重 53kg、身長 155cm の人の場合  
 体重 53kg ÷ 身長 1.55m ÷ 身長 1.55m = BMI22

【別表2】BMI判定基準

年齢	BMI判定基準		
	やせ	適正体重の範囲	肥満
18～49歳	18.5未満	18.5～24.9	25以上
50～64歳	20.0未満	20.0～24.9	25以上
65～74歳	21.5未満	21.5～24.9	25以上
75歳以上	21.5未満	21.5～24.9	25以上

体重は、各ライフステージにおいて、生活習慣病や健康状態との関連が強く、健康と栄養状態の目安としてとても重要です。

「肥満」は、循環器病や糖尿病、がんなどの生活習慣病との関連があります。

「やせ」は、若い女性の場合、骨量減少や低出生体重児を産するリスクなどがあります。また、高齢者の場合は、フレイル(虚弱)の主要な要因となり、要介護のリスクを高めます。

## 健康

### 「元気で健幸なえびの市づくり計画」～適正体重編～

問 市健康保険課市民健康係 ☎35・1116 (直通)

そのため、普段から体重管理を行い、太り過ぎにも、やせ過ぎにも注意して、適正体重を保つことが大切です。

適正体重は、BMIから求めることができます。BMIとは、身長と体重から求める体格指数のこととで、計算方法は、左上の別表1のとおりです。

適正体重の範囲は、年齢によって異なります。左下の別表2で確認し、適正体重を維持するために、生活習慣を見直してみましよう。



SUPでえびの高原の自然を体感



韓国岳をバックに初心者でも楽しむことができます

## 観光

### 白紫池のSUP体験が常設化

問 市観光商工課観光係 ☎35・1114 (直通)

えびの高原にある白紫池では、SUPを楽しむことができます。SUPとは、Stand Up Paddleboard (スタンドアップパドルボード)の頭文字をとったウォータースポーツです。令和5年度までは、期間限定で体験予約を受け付けていましたが、令和6年度から本格的に常設化し、予約をすれば、いつでも体験できるようになりました(一部期間は気温等の関係で体験することはできません)。

白紫池でのSUPは、国立公園内の火口湖で行う全国的にも貴重な体験の場です。季節ごとのさまざまな景色を楽しんで、えびの高原の自然の魅力を体感してください。SUP体験に関する予約は、アウトドアステーションえびの(☎48・7650)で受け付けています。

# 市役所からのお知らせ

Pick up information

## 教育

### 学術教育および研究に関する国際交流協定調印式

問 飯野高等学校 ☎35・0300



光神省三校長とスン・イーミン学長(右から)

7月4日、飯野高等学校で、「学術教育および研究に関する国際交流協定調印式」が行われました。これは、台湾の中華医事科技大学と、教育や研究での協力や、教職員・学生の交流推進、地域活性化に関する共同研究などを目的に締結したものです。

中華医事科技大学は、台湾の南に位置する台南市にある私立の専門大学で、医療や看護、観光・レジャーなど、多岐にわたる学科を

設置しています。

6月25日から7月4日の間、飯野高等学校で、同大学の学生10人が研修を行い、市内の福祉施設や市立病院などを見学・体験しました。8月中旬には、飯野高校生が台湾を訪問する予定です。

同大学のスン・イーミン学長は「地域創生に関して相互の交流は意義のあるものです。幅広い分野での共同研究が行えることを願います」と話してました。

## 教育

### 通学路危険箇所合同点検

問 市学校教育課総務係 ☎35・3721 (直通)



各関係機関が合同で危険箇所を点検

7月26日、市教育委員会では、子どもたちの通学の安全を確保するため、各小学校区で「通学路危険箇所合同点検」を実施しました。各学校では、子どもたちに登下校時の安全指導を行っています。ハード面の整備は各関係機関の連携が必要です。この点検は、各関係機関と合同で行うことで、危険箇所の情報を共有し、改善するために実施したものです。

点検には、宮崎県小林土木事務所、えびの警察署、市建設課、市基地・防災対策課、市農林整備課、市学校教育課、各小中学校の教職員ら22人が参加し、用水路近くの通学路や見通しの悪い交差点などを見て回りました。

危険箇所については、今回の点検の結果を踏まえ、対応できるものから改善していきます。

7/18 防災教育



### 地域とともに「防災力」を高める

飯野中学校の全校生徒を対象に防災教育が行われました。これは、自らの命を守る力の育成と防災意識の醸成を図るため、市や国交省、飯野まちづくり協議会、株式会社安藤商事が実施したものです。防災教育では、川内川河川敷で飯野麓地区の防災の取り組みの紹介などが行われました。3年生の大木場優心さんは「生徒会で防災の取り組みを行っているの、いざという時のために参考にしたいです」と話しました。

7/17 えびの市中高連携推進会議



### 中高連携の可能性を探る

飯野高等学校で、令和6年度えびの市中高連携推進会議が行われました。これは、市内の中学校と飯野高等学校が連携を図り、学力向上や中高連携教育を推進するために行っているものです。市内の小・中学校や飯野高等学校の教職員など、学校関係者18人が参加しました。同会議では、飯野高等学校の取り組みの報告や中高連携のアイデアについてグループワークが行われ、中高相互の理解を深めました。

7/20 えびの京町温泉花火大会



### 3千発の花火が夜空を彩る

京町川内川河川敷で「第27回えびの京町温泉夏祭り花火大会」が行われました。これは、京町温泉夏祭り実行委員会の主催で行われたものです。ステージイベントが行われるとともに、露店等も立ち並び、会場は多くの人でにぎわいました。ステージイベント後には、約3千発の花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩り、訪れた人を魅了しました。

7/17 国スポ・障スポ開催の広報活動



### スポーツの祭典の開催を周知

道の駅えびので、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県での開催決定に伴い、広報活動が行われました。国民スポーツ大会は、スポーツを通して国民生活を明るく豊かにすることを目的に行われる、国内最大のスポーツの祭典です。広報活動では、道の駅えびのを訪れた人たちに、チラシやウェットティッシュを配布し、国スポ・障スポの宮崎県開催決定を周知しました。

7/11 関西スーパーマーケット 寄付金寄贈式



### 畜産業の活性化の一助に

株式会社関西スーパーマーケットが、企業版ふるさと納税として、市に寄付金を寄贈しました。これは、硫黄山の火山活動の影響を受けている農家の皆さんを支援したいという思いから寄付されたものです。同社から自治体への企業版ふるさと納税は、えびの市が初めてです。同社の中西淳代表取締役社長は「食肉卸で付き合いの長い、えびの市の農家の皆さんの役に立てばうれしいです」と話していました。

7/4 中華医事科技大学・農業部農村発展及水土保持署台南分署訪問



### 国際交流発展の架け橋に

中華医事科技大学訪問団・農業部農村発展及水土保持署台南分署(台湾の行政機関)訪問団が、市役所を訪れました。これは、飯野高等学校と中華医事科技大学の国際連携協定の締結にあたって、学校間だけでなく、えびの市と台南市(台湾)のさらなる交流発展を目的に訪問したものです。交流とともに、共通の課題である地方創生についての意見交換が行われました。

7/15 上浦澤原八坂神社例大祭



### 来季の稲作を願う

上浦地区の澤原八坂神社で「澤原八坂神社大祭」が行われました。上浦地区では、毎年15日に稲の豊作や家畜の無病息災などを願って「棒踊り・鎌踊り」を奉納しています。今年は硫黄山の影響で稲作を断念した農家もあり、来季の稲作を願いました。棒踊りには、保存会青年部の17人が、鎌踊りには、岡元小学校の児童12人が参加しました。

7/6 はじめてのクラシック♪ in えびの



### 親子でクラシック音楽を楽しむ

市文化センターで「はじめてのクラシック♪ in えびの」が行われました。これは、小さな子ども連れでも楽しめるコンサートとして、市教育委員会と宮崎県立劇場が共催で実施したものです。親子10組28人が参加しました。コンサートでは、フルート奏者の熊谷愛香さんとピアノ伴奏者の高場涼子さんが、ソウヤハチにちなんだ楽曲などを披露し、参加した親子がクラシック音楽を楽しみました。

8/5

防犯活動用品贈呈式



安全安心な地域づくりを目指す

市役所で「防犯活動用品贈呈式」が行われました。これは、「地域の安全・安心活動推進モデル地区」の指定を受けた堀浦自治会の安全安心で住みよい地域づくりを目指した活動に役立ててもらおうと、えびの地区防犯協会から贈呈されたものです。

贈呈式では、西道寛<sup>かすみ</sup>三会長に、活動推進に必要な資機材として、ウインドブレーカーやフラッシュボタンなどが贈呈されました。

8/3

えびの市民大学講座



市民大学受講生と留学生が交流

日章学園九州国際高等学校で、えびの市民大学の第3講座が行われました。今回は、地元、えびの市にある高校の取り組みを市民大学の受講生に知ってもらおうと「人と人とのつながりで豊かに～コミュニケーションマジックと五色百人一首を通して」をテーマに行われました。

講座では、日章学園九州国際高等学校の留学生と市民大学受講生が、百人一首やマジックのワークショップを通して、交流を深めました。

7/25

第60回県スポーツ少年団中央大会サッカー競技優勝報告



九州大会に出場

FCバティックスに所属するえびの市の選手9人が、「第60回県スポーツ少年団中央大会サッカー競技」で優勝し、「第44回九州ブロックスポーツ少年団サッカー交流大会」に出場することを、市長に報告しました。

同チームの加久藤トレーニングヴィレッジの徳重聡汰キャプテンは「九州大会では、市民の皆さんに良い報告ができるようにチーム一丸となって頑張ります」と意気込みを話しました。

7/21

第12回霧島・えびの高原エクストリームトレイル



霧島・えびの高原を駆け抜ける

第12回霧島・えびの高原エクストリームトレイルが行われました。これは、霧島・えびの高原の文化や自然環境の素晴らしさ、霧島ジオパークを体感してもらうことを目的に行われているものです。

県内外から、ロングコース（約65.5km）に306人、ショートコース（約33km）に390人が参加しました。出場者は、元気なかけ声とともにコースに飛び出しました。

8/5

県中学校総合体育大会入賞報告



県大会での成績を報告

加久藤中学校・真幸中学校の空手部、えびの新体操クラブが、令和6年度宮崎県中学校総合体育大会で上位に入賞したことを報告しました。加久藤中3年の松岡知優さんと真幸中3年の小屋敷哩仁さんが個人総合で3位。えびの新体操クラブは、上江中3年の内園和志さんが個人総合で1位、団体で2位の成績を収めました。

8月に大分県（空手道）と鹿児島県（新体操）で行われた九州大会に出場しました。

8/3

令和6年度県民総ぐるみ「地域・学校づくりのつどい」



地域とともにある学校づくり

市文化センターで「令和6年度県民総ぐるみ『地域・学校づくりのつどい』」が開催されました。これは、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちを育てていく地域ぐるみの教育を推進するために行われているものです。市内外から学校関係者など、197人が参加しました。

つどいでは、広島県府中市の先進的な取り組みについての講話や飯野高等学校の実践発表、参加者同士での対話が行われました。

8/1

いいのっ子アートスクール



創作活動の幅を広げる

飯野高等学校で、「いいのっ子アートスクール」が行われました。これは、図画・ポスターの作品制作に取り組み、創作活動の幅を広げるため、飯野小中高連携で行われたものです。飯野小学校4・5・6年生9人が、飯野高等学校の美術部員と飯野中学校の美術教諭の指導を受け、制作活動を行いました。八木みさきさん（6年）は「わかりやすく教えてもらったので上手く描くことができました」と話していました。

7/21

留学生歓迎会



留学生との交流を深める

市国際交流センターで「えびの市留学生歓迎会」が行われました。今年、中国の長春日章学園高中（高校）からえびの市の日章学園九州国際高等学校にきた留学生85人を歓迎しました。歓迎会では、留学生の合唱や参加者全員でえびの音頭を踊るなど、交流を深めました。

生徒会長の王鋭（ワンルイ）さんは「市民の皆さんと交流を深め、えびののこを教わりたいです」と話していました。

横断歩道は歩行者が絶対優先!



横断歩道を横断しようとしている歩行者、または横断中の歩行者がいるとき、車両は横断歩道の手前で一時停止をし、かつ、歩行者の通行を妨げないようにしなければなりません。

◎横断歩道付近を通行する際の注意事項

- ・横断歩道の標識や表示(ダイヤモンド)を見かけたら、減速して、付近に歩行者がいないか確認しましょう。
- ・横断歩道付近が確認できない状況であれば、停止線で停止できるような速度で進行しましょう。

7月の交通事故発生状況	人身物件	2件	本年累計	18件
		29件	本年累計	166件

熱中症患者が急増しています!



近年の酷暑による熱中症対策は重要です。まず、こまめな水分補給が必要です。次に、涼しい場所で休息を取ることも必要です。特に日中の外出は控え、適度にエアコンを使用してください。最後に、服装も工夫し、軽い素材や通気性の高い服を選びましょう。

これらの対策で、熱中症のリスクを減らし、安全に夏を過ごしましょう。

7月の活動状況(えびの消防署管内)	火災救急	2件	本年累計	16件
		110件	本年累計	636件

あんしんねっと Area comprehensive support



**高齢者の虐待防止と早期発見のために**  
 高齢者の人権侵害の一つに高齢者虐待があります。虐待は、身体的な暴力だけでなく、怒鳴る、無視するなどの心理的虐待、食事や飲み物を与えないなどの介護放棄、年金を無断で使用するなどの経済的虐待、性的虐待などもあります。虐待の当事者の中には、一生懸命介護する中で、責任感の強さや誰にも相談できない状況から、心身ともに疲れ果て、気が付かないまま虐待をしている人もいます。

これらを防ぐためには、介護者自身の負担軽減を図ることが大切です。無理をせず、さまざまなサービスや制度を活用しましょう。近所との付き合いがなく、孤立している高齢者世帯などへの周囲の声かけや見守りが、虐待の早期発見につながります。つらい思いを抱えている高齢者や家族を発見したら、最寄りの在宅介護支援センターや地域包括支援センターにご相談ください。

- ◎ 地域包括支援センター 35-11112
  - ◎ 南部在宅介護支援センター (ほうよう内) 25-3311
  - ◎ 東部在宅介護支援センター (さくら苑内) 33-2377
  - ◎ 中部在宅介護支援センター (えびの市社協内) 35-2800
  - ◎ 西部在宅介護支援センター (えびの涼風園内) 37-3085
- 文：地域包括支援センター

男女共同参画 Gender Equality

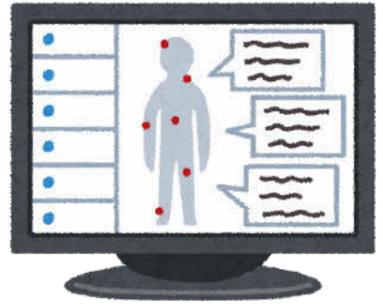


**ワーク・ライフ・バランス**  
 ワーク・ライフ・バランスとは、働く人の「仕事」と「家庭・育児・介護や地域活動、ボランティア活動、趣味など、あらゆる個人活動を含む「仕事以外の生活」との調和がとれ、その両方が充実している状態をいいます。仕事が順調であれば、私生活

に心のゆとりができます。また、私生活が充実すれば、仕事への活力が生まれ、仕事の生産性・効率性が向上します。このような好循環を目指すものです。  
**ワーク・ライフ・バランスを実現するために**  
 【事業所等では】  
 ・育児や介護、病気療養などの事情を抱えた人への支援や配慮  
 ・長時間労働などの見直しなど  
 「メリット」優秀な人材の確保と定着、仕事の効率性や仕事に

対する意欲、生産性の向上など【個人では】  
 ・有給休暇を取り、個人の時間、家族や友人との時間を確保する  
 ・育児・介護休業制度などを活用して、仕事を続けるなど  
 「メリット」家族との時間が増える、趣味の時間ができる、ストレスの軽減など  
 一人一人が、自分の生活に何が必要で、何を充実させるべきなのかを見直すことで、生活が豊かになります。この機会に働き方を見つめ直してみませんか。  
 文：市総務課人権啓発室

市立病院 City hospital



**4月から電子カルテを導入しました**  
 市立病院では、令和6年4月1日から、電子カルテを導入しました。電子カルテは、患者の診療内容や、診断結果の経過などが記入された手書きの紙カルテを、パソコンを用いて記入し、電子データ化して管理するシステムです。  
 電子カルテは、院内のさまざまな部署にある検査機器や、システムとも連動しています。情報をリアルタイムに共有することができ、業務効率化と

診療の質の向上につながります。また、算定ミスを防ぐなど、事務処理の効率化も図ることができます。保存や管理も電子化されるため、紙カルテの保存・管理に必要な場所や費やす労力も不要になります。  
 不正利用やウイルス感染に関しては、個人情報・データ流出を防ぐために、厳重なセキュリティ対策を行っています。  
 電子カルテ導入から4カ月経ちましたが、まだ不慣れな点が多

く、迷惑をおかけすることもあるかと思えます。ご理解とご協力をよろしくお願いたします。※受診に関しては、従来の通り予約制ではありません。  
**9月のふるさと外来**  
 【17日】担当 有留 大海 医師  
 「診療科目」総合診療科  
 「時間」午前9時～午後1時  
 【18日】担当 北園 和成 医師  
 「診療科目」循環器内科  
 「時間」午前8時30分～午後5時15分  
 文：市立病院 地域医療連携室



## ご利用ください「えびの市住宅リフォーム促進事業補助金」

市では、令和6年度えびの市住宅リフォーム促進事業補助金(後期分)の申請受付を開始します。

後期予算額に達した時点で受け付け終了となります。ご了承ください。

【受付開始日】9月5日(木)

【補助対象者】次の全てに該当する人

・市内に居住し、住民基本台帳に記録されている者であって、補助対象住宅の所有者(配偶者、または一等親の血族もしくは姻族を含む)

・申請者および同一世帯員が市税を滞納していない

【補助対象住宅】補助対象者の居住の用に供している市内に存する住宅

※事務所、または賃貸住宅等の併用住宅は、補助対象者が居住する部分に限ります。

【補助対象工事】

・市内に主たる事業者を有する法人、または市内に住所を有する個人事業者である施行業者を利用して実施する住宅の工事

・当該工事に要する費用が20万円以上の工事

・補助金の交付決定後、原則3カ月以内に着手できる工事

※市の他の制度による助成を受けていない部分に限ります。

・補助金の交付決定通知前に着手した工事は、対象外となります。

・3カ月以内に着工を行っていない場合は、申請を取り消す場合があります。

【補助金額】補助対象工事に要する経費の20%の額

※上限は15万円です。

【申請方法】申請書類を市観光商工課商工係に提出してください。

【申請書類】

①申請書、事業計画書、収支予算書

②見積書(施工業者からの見積書)の写し

③所有者が申請者と異なる場合は、所有者と申請者の続柄が証明できる書類

④所有者が死亡している場合は、相続人全員の同意がわかる書類

⑤土地家屋名寄帳の写し

⑥工事を行う住宅の現況および工事施工予定箇所の写真

⑦工事箇所の平面図

※①は、市ホームページからダウンロードするか、市観光商工課で取得してください。

【その他】

・この補助金の利用は、同一住宅につき1回限りとなります。

・前所有者が当事業を既に利用している場合があります。補助対象になるかを事前にご相談ください。

・申請後、市が納税状況について調査します。滞納がある場合は補助金の交付ができません。事前に納税状況を確認し、申請をお願いします。

申・岡市観光商工課 商工係

☎35-3728 (直通)

## 「成人式～20th Anniversary～」を開催します

市では、「令和7年成人式～20th Anniversary～」を開催します。民法改正に伴い、令和4年4月1日から、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられましたが、市では、例年通り、年度内に20歳を迎える人を対象に実施します。

【開催日】令和7年1月5日(日)

【時間】午前10時～[受付]午前9時～

【場所】市文化センター

【対象者】平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた市内在住者、または市内出身者

※進学や就職で転出した人も、えびの市成人式に出席できます。

【申込方法】事前申し込みが必要です。令和6年10月時点で住民登録のある人に、10月中旬に案内を発送する予定です。案内に申し込み用のQRコードを添付していますので、必要事項を入力してお申し込みください。

※市外に居住している市内出身者や、案内状が10月下旬以降に届いていない人は、市社会教育課にご連絡ください。

【その他】

・着付けやヘアメイク等で店や個人宅等に行く場合も、体調管理に留意してください。

・万が一、成人式が延期や中止となった場合、振袖レンタル費用等の補償はできませんのでご了承ください。

申・岡市社会教育課 社会教育係(市文化センター内)

☎35-2268 (課直通)



## 「成人式～20th Anniversary～」意見発表者を募集します

市では、令和7年1月5日開催の成人式で行う「新成人者意見発表」の発表者を募集します。

【応募資格】平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた市内在住者、または市内出身者で令和7年成人式に出席できる人

【テーマ】テーマは自由です。「成人を迎えて」「成人になって思うこと」「えびの市の将来」「これからの自分」など、今思っていることを自由にお書きください。400字詰め原稿用紙2～3枚程度にまとめ、住所・氏名・電話番号を記載したものを市社会教育課社会教育係に郵送してください。

【申込期限】10月18日(金)

【打ち合わせ】発表者は、令和7年1月4日(土)に事前打ち合わせを行います。

【その他】応募多数の場合は、審査のうえ発表者を決定します。その場合、審査結果は11月5日(火)までに本人に通知します。

※応募原稿は返却しませんので、ご了承ください。

申・岡市社会教育課 社会教育係(市文化センター内)

☎35-2268 (課直通)

## 「豊かな森林づくり活動」ボランティア参加者募集

市と特定非営利活動法人NPOえびのでは、次世代に健全な森を継承するために、植樹地の下草刈環境活動をするボランティアを募集しています。これは、宮崎県森林環境税を活用して実施するもので、皆さんに森林環境に関心を持ってもらうことを目的に行っているものです。

【開催日】9月29日(日)

【時間】午前9時30分～午後1時[受付]午前9時～

【活動場所】えびの市大字内堅(西内堅地区)

【集合場所】市役所駐車場

※現地までマイクロバスで移動します。

【定員】30人 ※先着順

【作業内容】下草刈活動

【持ってくるもの】作業できる服装、雨具、熱中症対策用

品、マスクなど

※草刈り鎌、昼食、飲み物、消毒液は主催者側で準備します。

【申込方法】市農林整備課林務係に電話でお申し込みください。

【申込期限】9月20日(金)

【その他】・1日保険に加入します。

・当日、発熱のある人や体調が悪い人は、参加できません。

・悪天候等により中止する場合があります。

申・岡市農林整備課 林務係

☎35-3725 (課直通)

## 令和6年度中核機関つなご啓発イベントを開催します

中核機関にしもろ地区権利擁護推進センターつなごでは、「住み慣れた西諸で、すべての人が自分らしく暮らすために」をテーマに、権利擁護や成年後見制度についての普及啓発イベントを開催します。ぜひ、ご参加ください。

【開催日】9月20日(金)

【時間】午後1時30分～午後4時

【場所】小林市文化会館 大ホール

【参加費】無料

【内容】障がい者施設による演奏、基調講演、実践報告

【講師】萩・山口法律事務所 山口 正之 弁護士

【演題】身元保証人は必要か? 身寄りのない方の支援を地域で考える

※手話通訳、要約筆記あり

※障がい者施設による出店もあります。

岡中核機関にしもろ地区権利擁護推進センターつなご

☎27-3358



## 会計年度任用職員を募集します

市健康保険課では、会計年度任用職員(保健師・看護師)を募集します。

【募集人員】1人

【業務内容】市保健衛生事業における保健師業務(健康相談、健(検)診業務など)の補助

【資格要件】

・保健師、または看護師免許

・普通自動車運転免許

【適任要件】パソコン(ワード・エクセル)ができる人

【報酬】10,580～11,115円(日額) ※通勤・期末勤勉手当あり

【勤務時間】午前8時30分～午後5時(月曜～金曜 ※祝日・年末年始を除く)

※場合によっては、時間外勤務あり

【勤務場所】①市健康保険課 ②保健センター

【雇用期間】10月1日～令和7年3月31日

【保険等】社会保険・雇用保険あり

【選考方法】書類選考(市様式の履歴書)と面接

※面接日時は、後日申込者に連絡します。

【申込方法】市様式の履歴書および保健師免許、看護師免許の原本、または写しを市健康保険課市民健康係に直接、または郵送(9月13日まで必着)で提出してください。

【申込期限】9月13日(金) 必着

※市様式の履歴書は、市ホームページ、または市健康保険課にあります。

申・問市健康保険課 市民健康係

☎35-1116 (直通)

## 受診してください 「結核検診(飯野地区)」

市では、令和6年度の結核検診(飯野地区)を実施します。対象者である65歳以上の人は、次の日程のいずれかで検診を受けてください。ただし、次の①・②に該当する人は受ける必要はありません。また、①に該当する人は市健康保険課市民健康係にご連絡ください。

①令和6年4月以降に職場や病院、施設等で胸部レントゲ

ン検査を受けた人

②令和6年4月以降に肺がん健診を受診した人、または市の人間ドックに申し込みをしている人

【受診方法】対象者には結核検診実施通知書が郵送されます。結核検診実施通知書を持って検診会場にお越しください。どの会場でも受診できますので、都合の良い会場で受診してください。※検診費は無料です。

【日程及び場所】

期日	場所	時間
9月9日 (月)	堀浦多目的集会施設	9:30～10:00
	上大河平鍋倉公民館	10:20～10:40
	旧大河平小学校	11:00～11:30
	下大河平公民館	13:20～15:00
9月10日 (火)	東原田公民館	9:30～10:40
	田ノ上運動場	11:00～11:30
	杉水流公民館	13:20～15:00
9月11日 (水)	飯野地区コミュニティセンター	9:00～11:30
	今西公民館	13:20～13:50
	池島公民館	14:10～14:50
9月12日 (木)	上江地区体育館	15:10～15:30
	前田公民館	9:30～10:30
	坂元公民館	10:50～11:30
9月13日 (金)	芋畑コミュニティセンター	13:20～14:00
	高野畜産管理センター	14:30～14:50
	飯野駅前地区体育館	8:30～11:30
9月17日 (火)	南原田妙見活性化センター	13:20～13:50
	南原田大迫・宮原岐雄様宅	14:10～14:40
	飯野地区コミュニティセンター	8:30～10:30
9月18日 (水)	南原田公民館	11:00～11:30
	上上江公民館	13:20～14:10
	中上江公民館	14:30～15:00
9月20日 (金)	山内公民館	9:30～10:10
	えびの福祉作業所	10:30～11:30
	飯野駅前地区体育館	13:20～14:40
9月20日 (金)	白鳥地区公民館	9:30～10:30
	末永公民館	10:50～11:30
	田代公民館	13:20～14:00
	出水公民館	14:30～15:00

【リフト付き検診車について】

リフト付き検診車による検診を次の日程で行います。リフト付き検診車では、車いすから検診専用の車いすに乗り換えて撮影ができます。通常の検診車での検診が困難な人



は、ぜひ、この日をご利用ください。

期日	場所	時間
11月20日 (水)	飯野駅前地区体育館	9:30～11:30
	国際交流センター	13:10～13:40
	えびの市役所駐車場	14:00～15:30
11月21日 (木)	飯野地区コミュニティセンター	9:00～11:30
	上江地区体育館	13:20～14:20
	下大河平公民館	14:50～15:20

問市健康保険課 市民健康係

☎35-1116 (直通)

## 生産調査(WCS用稲・わら専用稲) 現地確認調査を実施します

第2回生産調査(WCS用稲・わら専用稲)現地確認調査を次の日程で実施します。

対象者は、9月1日(日)までに必ず黄色の立て札を立ててください。また、調査日までに雑草の除去など、管理徹底をお願いします。

期間	対象地区
9月2日(月)～5日(木)	加久藤地区、真幸地区
9月6日(金)～11日(水)	飯野地区、上江地区
9月12日(木)～13日(金)	市外(小林市、湧水町)

※調査結果は、付箋で立て札に貼ります。「雑草が多い」、「生育不足」等の再確認の場合は、再度調査を行います。※立て札がない場合は、交付の対象とならない場合があります。

※天候の影響や調査の進み具合によって、調査日が前後する可能性があります。

問市農業再生協議会事務局(市畜産農政課内)

☎35-1650 (直通)

## 九州脊梁山地シカ広域一斉捕獲が行われます

宮崎・鹿児島・熊本・大分・福岡県の5県および各市町村合同で秋期のシカ一斉捕獲を実施します。期間等は以下のとおりです。期間中の入山等については十分ご注意ください。市民の皆さんのご協力をお願いします。

【一斉捕獲期間】9月15日(日)～29日(日)

【一斉捕獲日】9月15日(日)、22日(日)、29日(日)

問市農林整備課 林務係

☎35-3725 (課直通)

## サルの出没に注意してください

市内でサルが出没するおそれがあります。もし、サルに出会った場合は、次のように行動してください。

①近づかない、刺激しない

人慣れしていない野生のサルであれば襲ってくることは少ないです。サルが見えない場所まで離れましょう。

②目を合わせない

サルと目が合うと、威嚇されたと思い、視線をそらしたときに襲ってくる場合があります。

③食べ物を与えない

食べ物を与えると人を怖がらなくなります。居着いてしまうため、収穫後の残りかすや収穫しない実など、餌になる物は撤去しましょう。

④大人たちで積極的に追い払いをする

大人たちで積極的に追い払いをしましょう。1人で追い払うより大勢で追い払う方が効果的です。自治会の皆さんと協力して追い払いましょう。鍋を棒で叩いて大きな音を出したり、ロケット花火等(火災等に注意)を飛ばしたりするのが効果的です。人や建物に危害を加えないように注意して使用してください。追い払ってもなかなか逃げない場合や威嚇してくるサルは危険です。静かに離れましょう。

問市農林整備課 林務係

☎35-3725 (課直通)



## 国際交流センターの指定管理者を募集します

市では、国際交流センターの管理運営について、指定管理者を募集します。

【名称】えびの市国際交流センター

【所在地】えびの市大字榎田388番地1

【指定期間】令和7年4月1日～令和12年3月31日（5年間）

【申込方法】必要書類に記入の上、市民協働課に直接、または郵便書留（9月20日まで必着）で提出してください。

【申込期限】9月20日（金）

※申請資格要件や業務内容などの詳細は、募集要項・仕様書をご確認ください。

※募集要項や仕様書、各種様式は、市ホームページ、または市民協働課にあります。

申・問市民協働課 市民協働係

☎35-1118（課直通）

### ◎共通事項

【指定期間】令和7年4月1日～令和10年3月31日（3年間）

【申込方法】必要書類に記入の上、市観光商工課に直接、または郵便書留（9月30日まで必着）で提出してください。

【申込期限】9月30日（月）

※申請資格要件や業務内容などの詳細は、募集要項・仕様書をご確認ください。

※募集要項や仕様書、各種様式は、市ホームページ、または市観光商工課にあります。

申・問市観光商工課 観光係

☎35-1114（直通）

## えびの焼き体験&田の神さあ巡りバスツアーに参加しませんか

えびの市観光協会では、えびの焼き体験&田の神さあ巡りバスツアーの参加者を募集します。

これは、えびのブランド認証の大河平陶芸えびの焼きの体験や、市内の田の神さあを巡る中で、市の魅力を体感してもらうツアーです。また、市歴史民俗資料館で期間限定開催される、「田の神さあ展」の見学も行う予定です。ぜひ、ご参加ください。

【開催日】9月15日（日）

【時間】午前9時～午後2時30分

【集合場所】道の駅えびの

【集合時間】午前8時50分

【定員】20人

【参加費】2,500円（陶芸体験代、昼食代含む）

【申込方法】えびの市観光協会に電話でお申し込みください。

【申込期限】9月10日（火）

申・問えびの市観光協会

## 観光施設の指定管理者を募集します

市では、次の観光施設の管理運営について、指定管理者を募集します。

### ■矢岳高原ベルトンオートキャンプ場

【名称】矢岳高原ベルトンオートキャンプ場

【所在地】えびの市大字西川北1377番地2

### ■えびの高原キャンプ村

【名称】えびの高原キャンプ村

【所在地】えびの市大字末永1470番地

### ■白鳥温泉施設

【名称】白鳥温泉施設（白鳥温泉上湯、白鳥温泉下湯）

【所在地】えびの市大字末永1470番地



### 今月の表紙 >>

7月28日、西川北菅原神社で行われた「牛越祭」。今年は、13頭の牛が丸太越えに挑戦。牛が丸太を跳び越えるたびに、観客から歓声が上がっていました。

### 今月の納税 >>

市県民税 第2期  
国民健康保険税 第2期  
後期高齢者医療保険料 第2期  
介護保険料 第3期

9月2日（月）までに納めましょう。

☎35-3838

## えびの市長等政治倫理審査会の審査報告書の要旨を公表します

えびの市長等政治倫理審査会は、7月5日にえびの市長およびその配偶者の資産等補充報告書等に係る審査を行い、市長宛てに審査報告書を提出しました。このことに伴い、その要旨を次のとおり公表します。

なお、審査報告書および資産等補充報告書等は総務課で閲覧できます。

### ■審査報告書の要旨

【審査の対象】

条例に基づき市長が作成した市長およびその配偶者に係る次の報告書

①資産等補充報告書

②所得等報告書

③関連会社等報告書

【審査結果】

今回提出された資産等補充報告書、所得等報告書および関連会社等報告書について、証明書類に基づき確認、審査した結果、疑義なく適正に報告されているものと認められる。

問市総務課 人事係

☎35-3711（課直通）



## ■証明書等コンビニ交付サービスをご利用ください

マイナンバーカードを利用して、市が発行する証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書等）を全国のコンビニエンスストア等のマルチコピー機で取得できます。

【利用日時】午前6時30分～午後11時

※年末年始を除く

※戸籍証明のみ平日午前9時～午後5時

【取得できる証明書】

住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部（一部）事項証明書、戸籍の附票の写し、所得課税証明書、非課税証明書

問市民環境課 市民・年金係 ☎35-1117（直通）

問市税務課 収納対策室 ☎35-3737（直通）

## 祝！100歳 いつまでもお元気で

7月に100歳を迎えられた皆さんを紹介します。



鶴丸 ササ子さん  
（田代）



常盤 フキさん  
（杉水流）

### 人口 >>

16,072人（前月比 +17人）

男性／7,625人(+24人) 女性／8,447人(-7人)

転入／82人 転出／38人 出生／5人 死亡／32人

### 世帯数 >>

7,728世帯（前月比 +42世帯）

（令和6年8月1日現在）

### Editor's >>

7月は、えびの京町温泉花火大会に、西川北菅原神社牛越祭などイベントが目白押しで、夏を実感しました。足湯の駅えびの高原2階「霧の音」もグランドオープンし、カフェやキッズスペースが追加されています。暑い日が続きますが、えびの高原は比較的涼しく過ごしやすいと感じました。ぜひ、足を運んでみてください。（中川）

# 図書館へ行こう!



## おすすめの1冊



**ふろふき大根のゆうべ**  
安房直子 文  
アヤ井アキコ 絵  
(あすなろ書房)



**たっぷり使って毎日ヘルシー  
お酢屋さんのお酢レシピ**  
久保桂奈 著  
(NHK出版)

## ブックランド号 運行スケジュール

運行場所(ルート)	運行日(9月)	時間
岡元小学校→さくら苑	4日(水)、 18日(水)	13:15~15:15
上江小中学校→真幸出張所→Aコープかかとう店→加久藤地区体育館	5日(木)、 19日(木)	12:45~16:30
市役所→飯野地区コミュニティセンター	6日(金)、 20日(金)	12:30~15:15
真幸地区体育館	11日(水)、 25日(水)	15:25~15:50
飯野出張所→Aコープいいの店→自衛隊官舎	13日(金)、 27日(金)	14:50~16:30

## ■敬老の日特別上映会

- 開催日=9月14日(土)
- 時間=午後1時30分~
- 場所=図書館 学習室
- 内容=お終活

## ■喫茶ふら~つとが開店しています

喫茶ふら~つとでは、ふたつきのコーヒーとお菓子を無料で提供し、皆さんが一息つけるような憩いの空間を作っています。入口では、えびの福祉作業所と、えびの支援センタービーだまの季節の野菜や手作りの品物を販売しています。

- 開催日=毎月第4金曜日 ※都合により開催日が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 時間=午前10時~午前11時30分
- 場所=図書館 学習室

**X** えびの市民図書館 (@EbinoCityLib)  
<https://twitter.com/EbinoCityLib>  
※右のQRコードからも見る事ができます。



## えびの市民図書館

☎35-0242 <https://www.ebino-library.com/>

開館時間 火曜~土曜/午前9時~午後7時  
日曜・祝日/午前9時~午後5時

休館日 毎週月曜日(祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日)

あなたも作ってみませんか

## 心の一首一句



### 俳句

ひぐらしやまろき母の背流しをり

岩切嗣子

母が逝って一年：時おり一人して温泉に行っていました。夕方の山の露天風呂で涼しく美しい声で「かなかなかな」と鳴く蛸を聞きながら、他愛もないお喋りをしてました。懐かしい思い出です。きつと今年も、蛸の声とともに母と会えるでしょう。(自註)

### 詩

### 黙想

田中虎夫

熱波の日々が続く、救急車のうなり声が響きわたり、冷房の使用を呼びかけるオゾン層というやわらかいな着物は、恩恵いただきながら地球に思いを馳せる

花壇の 桔梗のかたまりが 青紫色の花 一杯咲かせている 例年になく 早い開花だった ナスは うす紫の花びらと 黄の蕊が緑葉に

紫紺色の実鮮やかに稔らせる ピーマンの地味な花 凛と 趣を蓄えて つやある香りの果実 恵み 与える

かすかな秋を含んだ風が 忍び足で街や里を横切って 行く 立ったまま黙想し 深く長い呼吸をする いついかなる時でもこれくらいゆとり 身につけたい 己にいいきかせた

### 詩

ボエム同好会(田中虎夫) ☎33・2959

### 俳句

松山良文さん ☎33・4904

霧島山の  
めぐみめぐる  
**えびの**  
山と水、米と酒、温泉と四季のまち。



えびの市  
LINE公式アカウント



えびの市広報  
Facebook



EBINO TOURISM

【市観光工商課公式インスタグラム国内旅行者向け】



EBINO TOURISM

【市観光工商課公式インスタグラム訪日外国人向け】



「マチイロ」  
マチを好きになるアプリ



※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。